

2021年6月25日

株式会社三菱UFJ銀行

東京都が発行する「東京ソーシャルボンド」への投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、本日、東京都が発行するソーシャルボンド（東京都公募公債（東京ソーシャルボンド（5年））第1回、以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、社会的課題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、東京都中小企業制度融資に係る預託金、特別支援学校・チャレンジスクールの整備および雇用・就業促進施設等の整備に充当されます。当行は事業活動の一環として社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり、本債券への投資を通じ、東京都が目指す新型コロナウイルスからのサステナブル・リカバリー（持続可能な回復）や、多様性や包摂性に富んだ「人が輝く社会の実現」に貢献してまいります。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2020¹⁾」に適合していると認められています。

当行は、今後も社会の課題解決につながる事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘 柄	東京都公募公債（東京ソーシャルボンド（5年））第1回
年 限	5年
発 行 額	300億円
条件決定日	2021年6月25日

¹⁾ 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則」（英文）は以下をご参照ください。
<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/social-bond-principles-sbp/>

以 上